

**第2類医薬品** **環境管理用薬剤**

**スミチオンゴキラートFL**

**有効成分**  
スミチオン 0.50%  
ゴキラート 0.50%

**特長**  
スミチオンによる安定した速効殺菌力  
ゴキラートによる優れた速効殺菌力  
新しい高分子の粘着剤を配合し、粘着剤の付着性を向上  
粘着剤の付着性を向上

住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社  
大阪府中央区道頓堀二丁目2番5号

# PCO新聞

(害虫防除新聞)

(平成28年3月1日)

株式会社データクロス  
発行所 **PCO新聞事業部**  
〒553-0003 大阪市福島区福島7-8-4  
TEL06(6453)6813 FAX 06(6453)6814  
編集発行人 矢萩千治  
年間購読料 25,000円(税・送料込)  
郵便振替 00970-8-303495  
http://dc1978.sakura.ne.jp/  
E-mail pcosb@future.ocn.ne.jp  
(毎月1回1日発行)

## 第50回ペストコントロールフォーラム ジカ熱流行受け媒介蚊対策で活発な意見交換

### 感染症発生時行政間の連携が課題に 未知の病原微生物や外来種への対応も

全国環境衛生・廃棄物関係課長会、(一財)日本環境衛生センター、(公社)日本ペストコントロール協会の主催による第50回ペストコントロールフォーラム(平成27年度ねずみ・衛生害虫駆除研究協議会)は、2月18~19日の2日間、京都市下京区の京都産業大学むすびわく館で、行政やPCOなどのべ790人が参加して開催された。50回目を迎えた今回は、蚊やマダニによる媒介感染症対策などに関する講演・シンポジウムが行われ、ジカ熱流行が問題となっている中、自治体の感染症媒介蚊対策について活発な議論が交わされた。次回大会は2017年2月9~10日、熊本県熊本市のくまもと森都心プラザで開催される。



自治体の媒介蚊対策に関するシンポジウムでは活発な議論が行われた

(遠藤誠・環境省近畿地方環境事務所) - の4題が講演された。

このうちでは、昨年度と Dengue 熱発生時の緊急防除協約を締結したことなど紹介。では、蚊成虫採用トラップとしてライトトラップと臭気誘引トラップを用いた調査結果が報告され、

2種類のトラップによるデータ蓄積が重要とした。

続いて「トピック・調査報告」として、マダニ媒介感染症に関する最近の話題 - 病原体のマダニ体内存在様式から感染のタイミングを推察する - (矢野泰弘・福井大学医学部) 生息域拡大が懸念されるツマアカスズメバチ(上野高敏・九州大学大学院農学研究院) 防疫用殺虫剤の野外使用時の用法・用量について(皆川恵子・(一財)日本環境衛生センター環境生物・住環境部) - の3題が行われた。

このうちでは防疫殺虫剤の低薬量散布効果を検討。承認薬剤の多くは用法用量の10分の1から2分の1の処理薬量で駆除効果が確認されたことから、用法用量の見直しや薬剤・機器の特性に適した処理法等の検討も必要とした。

2日目のシンポジウム「 Dengue 熱媒介蚊への対応を考える - 本年度の自治体における対応状況 - 」(座長: 沢辺京子・国立感染症研究所昆虫医学部)は、4自治体から27年度の媒介蚊対策に関する講演と総合討論が行われた。

東京都の対応(佐藤恭子・東京都健康安全部環境保健衛生課)では、Dengue 熱国内発生を受けて27年6月に策定された都の媒介感染症対策行動計画の概要、27年度に実施した媒介蚊サーベイランス、広報・啓発活動など紹介。28年度も同様の対策を実施し、職員向けの技術資料もジカ熱対策を盛り込んで改訂、ホームページ上に掲載するとして。

1日目の特別講演「身近に潜む病原微生物 - 節足動物媒介性感染症 - 」(前田秋彦・京都産業大学総合生命科学研究科)では、京都市のマダニ微生物保有状況調査について、フタトゲチマダニから日本で報告のないトゴウウイルスが分離され、人への感染例もあることから、身近な節足動物が未知の病原微生物を保有している可能性があり、平時から総合的な対応が必要とした。

次いで「害虫・獣に対する地域対応」として、京都府ペストコントロール協会の取組(山田浩二・京都府ペストコントロール協会) 京都府の取組(小林哲・京都府健康福祉部) 京都市の取組(長谷川昌巳・京都市衛生環境研究所) 近畿地方環境事務所における外来種対策について - 特定外来生物アルゼンチンアリの防除対策を中心に -

大阪府の対応(上澤行成・大阪府健康医療部環境衛生課)では、Dengue 熱発生以前からの媒介蚊対策について紹介したが、感染症法では自治体内での役割分担が明確でない問題点が指摘された。

岡山県の対応(芦田顕彦・岡山県保健福祉部健康推進課)では、岡山空港など4カ所で行った蚊の生息調査概要を紹介し、これらの取り組みをふまえた媒介蚊対策の手引きをホームページで公開するとして(2月19日公開)。

新宿区の対応(村井賢二・東京都新宿区保健所衛生課係長)では、27年に策定した区の媒介蚊感染症対策行動計画の概要と媒介蚊対策等を報告。28年度も蚊の対策を継続すると述べた。

総合討論では、2020年東京五輪の際の対応や発生時の行政間連携、平常時の蚊対策、薬剤備蓄の問題点等で活発な意見交換があり、座長の沢辺氏からは、各自治体に「越冬蚊を出さないため、蚊の発生終了時期に成虫駆除の実施をお願いしたい」と提案があった。

○(一社)大阪府ペストコントロール協会(石橋慎示会長)は、2月26日午後2時から、大阪市天王寺区のホテルアウアーナ大阪で、行政や関連団体など183人が出席し、創立50周年記念大会を開催した。当日は記念式典に続き、協会50年の歩みやセアカゴケグモ抗毒素血清に関する講演、祝賀会が催された(詳細は4月号に掲載)。

**業務用 嘔吐物処理剤**

サッとまいてスグに吸収  
固めて残さずポイッ

400g 1kg 5kg

ゼオライトが臭気を助めます  
高分子吸着剤がすばやく汚物を吸着  
抗菌剤入り

人と地球にやさしい環境づくり  
**神楽産業株式会社**  
URL: http://www.sin-yoi.co.jp/  
■東京都豊島区高田3-16-4 TEL 03-5391-3561  
■大阪市中央区今橋1-6-19 TEL 06-6222-2378

### 触角

冬の戻りで、先月下旬は冬らしく冷え込んだ。だが、暖冬の傾向は変わらず、今冬は十数年振りで平均気温が、平年より二度ほど上がった、という。先月末に気象庁が発表した長期予報によると、東日本は平年並みで、西日本は猛暑になると言われている。これは、エルニーニョ現象の終息は間違いないようだが、今冬以降は、気象庁が発表し、今年より、気温が上昇する可能性があることは確かであろう。農業にとつては昨年のような冷夏より猛暑の方が有難い。主力サヤ大豆商品はシロアリの発生が活発化して、年契に必要にしてもらうから、必要にしてもらう。この業界特有の要因である。その一方で、気懸かりなのは、やはり経済環境である。実需の面で、景気の良し悪しは、大きくかわって来ている。た。アベノミクスが円高、株安で、殆んど効果が出ず、一部の大きな企業を除いて、景気は厳しい状況にある。金利の打直し、この状況を打開する。この状況の打開を図ろう。透明である。効果の方は不透明である。効果の方は不透明である。効果の方は不透明である。効果の方は不透明である。

**新築 & 既築**

圧倒的なバリア効果と安全性で守る。

シロアリ防除剤 **アリピレス**®  
合成ピレスロイド剤

アリピレス普及会 事務局  
エフエムシー・ケミカルズ株式会社  
農業製品事業部  
〒107-0061 東京都港区北青山1-2-3

主成分ピフェントリンは世界保健機関(WHO)に認められた安全性の高い薬剤を使用しています。

## ネズミ対策商品通販オープン記念セール中!

弊社ではネズミ・害虫・シロアリ対策商品の通信販売を開始しました。  
オープン記念特価セール実施中です。

◎**新商品** **ハウス型ネズミ捕り**  
コーナー、隙間にスムーズ設置!  
粘着部にホコリが着きにくい!

◎**殺鼠剤**  
固形タイプ・粉剤・粒剤

◎**超音波ネズミ撃退器**  
テスト機貸出致します。お気軽に  
お問い合わせ下さい。

◎**防鼠資材**  
ネズミ防除の基本は侵入防止から

カタログ請求・お問い合わせは  
PCO新聞事業部  
TEL 06-6453-6813 FAX 06-6453-6814  
E-mail pcosb@future.ocn.ne.jp  
http://dc1978.sakura.ne.jp/